

がつ ぎょうじよてい 9月の行事予定

にちようび 日曜日	げつようび 月曜日	かようび 火曜日	すいようび 水曜日	もくようび 木曜日	きんようび 金曜日	どようび 土曜日
		1 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	2 ・囲碁 ・スマイルジュニア	3 ・愛隣連隣保 館長研修会 ・三島地域 就学前部会 ・貯筋体操 ・パソコン	4 ・愛隣連実務 担当者研修会 ・卓球	5 ・囲碁
6	7 ・周辺地域巡回 事業 ・囲碁	8 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	9 ・囲碁 ・スマイルジュニア	10 ・ふれあい喫茶 (当面の間中止) ・各種相談日 ・パソコン	11 ・卓球	12 ・囲碁
13	14 ・囲碁	15 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	16 ・囲碁 ・スマイルジュニア	17 ・貯筋体操 ・パソコン	18 ・卓球	19 ・囲碁
20	21 敬老の日	22 秋分の日	23 ・囲碁 ・スマイルジュニア	24 ・貯筋体操 ・パソコン	25 ・卓球	26 ・囲碁
27	28 ・囲碁	29 ・フォークダンス ・卓球 ・スマイルキッズ	30 ・囲碁 ・スマイルジュニア			

あさひぶんかかいかん
朝日文化会館
か い か かん

あさひぶんかかいかんれんらくさき
朝日文化会館連絡先
じゅうしょ しこくちゅうおうしみしまあさひ ちょうめ ばん ごう
住所：四国中央市三島朝日3丁目5番30号
TEL：28-6070
FAX：28-6104

会館だより

だい 449 号 令和2年9月号



あさひぶんかかいかん がいかん
【朝日文化会館の外観】

【お知らせ】

あさひぶんかかいかん かんせんよぼう てっぺい かく
朝日文化会館では感染予防を徹底し、各サークル・教室を再開しています。

○ 愛隣連隣保館長研修会 9月3日(木)、松前町総合福祉センター

○ 愛隣連実務担当者研修会 9月4日(金)、松前町総合福祉センター

○ 周辺地域巡回事業 9月7日(月) 16時～、三島地域

○ 各種相談日 9月10日(木) 10時～

じんけんそうだん せいかつそうだん こま なん はなし き
人権相談、生活相談、困っていること、何でも話に来てください。一緒に考えます。

○ ふれあい喫茶(百円モーニング) 新型コロナが終息するまでの間、中止します。

りんぽかんがくしゅうかい 隣保館学習会

例年、小・中学校の夏季休業中に行っている隣保館学習会を8月に開催しました。
今年の学習会は、「一人ひとりが同和問題と向き合い、自らの生き方について考え、差別解消に向けた思いを確立する。」「教職員それぞれが人権・同和教育を推進していく上で、自らの「学ぶ姿勢」を振り返り、推進者としての思いを高める。」ことをねらいとし、全体会、分散会を行いました。
人権対策協議会の山田会長の挨拶では、三島地域の隣保館学習会の起こりについて教えていただき、現在も教育現場で賤称語を使った差別が起こっていることに、真剣に学習し、自分が差別をなくする立場に立って子どもたちに人権・同和教育を行ってほしいと、願いを伝えられました。
全体会では、「教職員としての『学ぶ姿勢』はどうあるべきか」をテーマとして、人権・同和教育主任がそれぞれの部落差別解消への姿勢や思いについて話し、分散会につながりました。
分散会では、全体会のテーマから、「『差別の現実に深く学ぶ』とはどういうことか」「これまでの自分の学び、これから実践していきたいこと」について語り合い、学習を深めました。

【分散会での意見や思い】

- 他市で3年間教師をして四国中央市へ転任してきた。その3年間は人権・同和教育への意識が薄まっていた。四国中央市で人権・同和教育を学び直し、同和問題を自分のこととしてしっかりと取り組みたい。
- おかしいと思ったことを伝えたことをきっかけに、差別解消の仲間が増えた。
- 保護者の中には学生の時に、人権・同和教育を学習したことを覚えていない人もいるのではないかと。保護者が学生の時に熱い人権・同和教育を受けていたら差別を残すようなことはないのではないかと。今の子どもたちには熱い教育を通して差別を無くす子に育ててほしい。
- 人権・同和教育参観も保護者に中に入ってもらうと一緒に学んでもらうべき。参観日は啓発の絶好のチャンス。保護者啓発につなげてほしい。
- 自分の無知に気が付いた。研修会で発言したり、生の声を聞き学習を重ねていくこと

- が大切。この人なら相談できる。話してもらえる人に自分自身になっていくことが大事。
- インターネットの情報^{じょうほう}が正しいのか、偽り^{いつわ}なのかを見極めていくことが大切。人権感覚^{じんけんかんかく}を磨いていくことが必要だと感じる。
- 研修^{けんしゅう}をきっかけに母親^{ははおや}と差別^{さべつ}について話すことができ、差別^{さべつ}は絶対^{ぜったい}に許してはいけないという気持ち^{きもち}をお互い^{たが}に確か^{たし}めることができた。
- 差別^{さべつ}の現実^{げんじつ}に深く学ぶとは、研修会^{けんしゅうかい}に参加^{さんか}することだけではなく、自分の身近^{じぶん}にある差別^{さべつ}と向き合い^{むきあ}考えていくことだと思^{おも}う。様々な差別^{さまざま}があるが、他人^{ひと}事^{こと}ではなく、自分のこと^{じぶん}として^{かんが}考えていきたい。
- 自分の心^{しん}を開き^{ひら}本音^{ほんね}を話し、信頼^{しんらい}関係^{かんけい}を築^{きず}いて深く話し合^あえる関係^{かんけい}を作^{つく}っていきたい。
- 差別^{さべつ}はいけないと分^わかっているけど、自分の子ども^{じぶん}の話^{はなし}になると変^かわってくる人^{ひと}がいた。子どもたち^{こどもたち}が大き^{おお}くなった時^{とき}に、学^{まな}んだことを思い出^{おも}して、差別^{さべつ}はいけないと気^きづけるような子ども^こを育て^{そだ}ていきたい。
- 差別^{さべつ}を残^{のこ}す自分^{じぶん}ではなく、無^なくす自分^{じぶん}であることが大切^{たいせつ}。また保護者^{ほごしゃ}啓発^{けいはつ}が今^{いま}の課題^{かだい}となっている。保護者^{ほごしゃ}啓発^{けいはつ}を子ども^こだけに任^{まか}すことはダメ。教師^{きょうし}が保護者^{ほごしゃ}とどう関わ^{かか}っていくのかが重要^{じゅうよう}。今^{いま}の保護者^{ほごしゃ}は差別^{さべつ}を無く^なくするための学^{がく}習^{しゅう}を受けているので、一緒^{いっしょ}に無^なくす側^{がわ}に立^たって行^{こう}動^{どう}してもらえよう^{よう}に取り組^とみたい。

しどうしょくいんこうたい し 指導職員交代のお知らせ

あらた ちやくにん しょくいん かじわらうねみ 【新たに着任した職員：梶原妹美】



8月より朝日文化会館に着任しました梶原妹美です。
地域の方々とのつながりを大切に、皆様方の笑顔が少しでも増えますように、お手伝い出来ればと思っています。いつでも気軽に声をかけてください。
これから、どうぞ宜しくお願い致します。

たいしよく しょくいん つづきけいこ 【退職した職員：續木敬子】

朝日文化会館で、沢山の方と出会い・繋がり、そして笑顔^{えが}をいただいたことは、私^{わたし}の最高^{さいこう}の宝物^{たからもの}となりました。感謝^{かんしゃ}の気持ち^{きもち}でいっぱいです。本当にありがとうございました。